

第46回とまこまいスケートまつり参画事業

ミニアルバム

一般社団法人苫小牧青年会議所

このたび、一般社団法人苫小牧青年会議所では、第46回とまこまいスケートまつりに参画し、毎年恒例のスケートボブスレーに加え、わくわくスケートランド、スケートまつり歴史展を運営しました。

スケートボブスレーは、苫小牧に根ざしたスポーツであるスケートになぞらえ、スケートの形をしたボブスレーに子供達を乗せて走らせました。子供達に楽しい思い出を作ってもらい、この町とおまつりの文化を大切に作る人間に成長してもらうことを目的としました。

わくわくスケートランドは、15m×15mのスケートリンクをスケートまつり会場に設置し、スケートまつりの名の通り、市民がスケートを気軽に楽しむ機会を創ることを目的としました。

また、スケートまつり歴史展は、図書館から過去46年間のスケートまつりのポスターを借り受け、当時の時代背景を解説したパネルと一緒に張り出すことで、この町には素晴らしい歴史を持ったお祭りがあるということを認識してもらい、郷土愛につなげたいという目的で行われました。

以下に、スケートまつりの設営、運営をまとめましたのでご覧ください。



まずは、リンクの外枠から立て始めます。リンクの外枠は、西小学校さんに貸してもらいました。



初めてのことでしたので苦労しましたが、やっと外枠が立ちました。



外枠が立った後は、下地となる雪を入れて踏み固めます。



あとは、夜な夜な水を撒いて氷を仕上げていきます。



初日はこんな感じです。まだ表面がボコボコで、実はこの頃、本当にリンクが完成するのか不安でした。



準備期間中、メンバーが色々な差し入れを持ってきてくれました。なぜかリンクの上での味噌汁です。



こちらは豚汁。おいしそうです。



この日集まってくれたメンバーたち。この写真以外にも、本当に多くのメンバーが集まってくれました。



差し入れを食べて頑張るメンバーたち。



苦勞の末あって、だんだんリンクが固まってきました。



ボブスレーの準備も始まりました。重機の操作ができるメンバーに一日かけて手伝ってもらいました。



本番1週間前の全体設営の様子です。みんなで外枠となるネットを張ります。



ちょっと重めのメンバーを乗せて、雪慣らしをします。



みんなが走る場所も、踏み固めて地ならしをします。



リンクの仕上がり具合を確かめると同時に、次に撒く下地のために表面に細かいキズをつけます。



全体設営の日は、メンバーが差し入れてくれた鍋をみんなで食べました。



鍋は、「好きトマカレー鍋」です。新しい苫小牧のB級グルメを狙っています。



時には、泊まり込みでリンク作りを行いました。



いよいよ本番当日です。



今回初の試みとなるスケートリンクはご覧の通り大盛況!



開始早々から、たくさんの子供たちが次から次へと来場してくれました。



子供たちの歓声が聞こえてくるようです。



スケートをあまりうまく滑れない、小さな子供たちが今回の対象でした。



メンバーも、忙しい中にも楽しみを見いだしながら運営してくれました。



小さな子供たちが一所懸命スケートを滑っている姿には、心が癒される思いです。



スケート靴の無料貸し出しも行いました。次から次へと訪れる来場者にてんてこ舞いです。



もちろん、毎年大好評のボブスレーの運営も行いました。



今年は土台部分がよく凍り、スピードが出やすかったため、子供も大喜びです。



子供の笑顔とは裏腹に、メンバーはヘトヘトです。



まさに救いの手! 苫小牧港に寄港した米軍艦乗組員が手伝ってくれることに。



記念に岩倉市長を乗せて、乗組員の皆さんがボブスレーを押します。これも大切な交流です。



子供たちも押してみたいということで、今回だけ特別に押させてあげました。



昼休憩の様子です。お弁当代の一部には、ご厚志を使わせていただきました。



こちらは、リンクとボブスレーに続く3つめの催し物、スケートまつり歴史展の様子です。



こちらは、北方領土返還に対する署名活動の様子です。



アンケートコーナーも設け、市民の皆さんから広く意見を取り入れる工夫をしました。



ブースの一角に焼き肉コーナーを設け、来場してくれたOBの皆さんが休めるよう設えました。



この日来場してくれた大西先輩。このほかにも多くのOBの皆さんが来てくれました。



卒業年度のメンバーを乗せてボブスレーを回します。毎年の恒例行事です。



最後に、スケートまつり参画事業の成功を祝して、中井委員長を胸上げしました。



「和」をもって心ひとつに地域のために

理事長が掲げた今年のスローガンの通り、みんなが手で輪を作りながらの集合写真です。

今回のおまつりを通じて、LOMの和、OB諸氏との和、この地域との和を強く感じることができました。メンバーみなさんからの暖かい励ましやご協力がなければ、今回の事業は成り立たなかったと断言できます。

苫小牧LOMが作った和を地域全体の和へと広げるべく、これからも多々ご協力を仰ぐことも多くなろうと思いますが、その節にはどうぞ宜しくお願いいたします。

ご協力、誠にありがとうございました。